

「太古の畿内」 皆の広場 素人の地球視②

[A] はじめに

- * [B] 太古の畿内
- * [1] 琵琶湖の変遷
- * [2] 古大阪湖
- * [3] 旧山城湖(巨椋湖)
- * [4] 古奈良湖
- * [5] 古代の大坂
- * [6] 古代の大和川

H27.1.14 シ18 永野 徹

[A] はじめに

＜長年の疑問府！＞

* ○神武東征地はなぜ奈良なのか？、山麓なのか？

- * 1. 大和政権はなぜ奈良に誕生したのか？
(現在の地図からは河内平野しか考えられないが)
- * 2. それも奈良盆地の中央でなく周辺なのか？

* ○要因は何か？

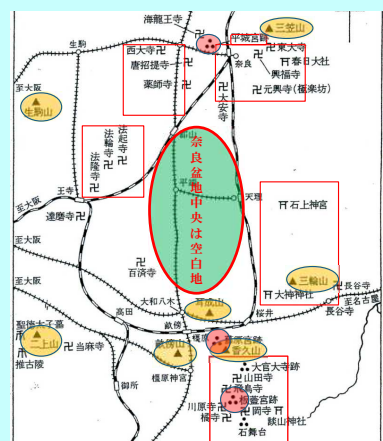
- * 1. 古代は現在の大坂平野の代わりに河内湖が生駒山まで続いていたと聞いた事がある。
- * 2. 奈良盆地中央は湿地で人が住めなかったか？

* ○太古畿内を調査して見る必要あり！

(1) 神武東征経路(1説)



(2) 奈良盆地中央は空白地



【B】太古の畿内(400万年前～古代)

【1】琵琶湖の変遷

<地質学者の見解>

- (1) 琵琶湖の変遷(約400万年前～現在)
- (2) 古大阪湾約(300～130)万年前
- (3) 巨諒湖の変遷(京都・宇治)
- (4) 奈良湖の変遷約(300～古墳時代)
- (5) 古代の大阪(河内湖)
- (6) 弥生時代(海面低下▼約-100M)

(1) 琵琶湖の変遷

- ① 大山田湖(400～300)万年前
- ② 阿山湖(300～270)万年前
- ③ 甲賀湖(270～250)万年前
- ④ 蒲生湖(250～180)万年前
- ⑤ 河川時(180～100)万年前
- ⑥ 堅田湖(100～40)万年前
- ⑦ 現在に至る

▼琵琶湖のつりかけり



(2) 淀川水系誕生(130万年前～現在)

- ① 130万年前奈良盆地隆起開始
逆に現京都盆地付近が沈降。
- ② 古奈良湖に流れていた古瀬田川が京都盆地へ流れ出す。
- ③ その後、現在のように(琵琶湖～淀川～大阪湾)ルートの淀川水系が誕生。
- ④ この頃に京都盆地原型が誕生
- ⑤ 京都盆地の底は古瀬田川他の影響を受け旧山城湖を形成し、変遷を経て堆積盆地と成る。(堆積地層は大阪層群)



【2】古大阪湖 2-1 300万年前近畿中部(氷河期)

(地質学者の見解では)

- ① 300万年前、近畿中部は湿地帯と湖(古大阪湖)であった。
- ② 200万年前頃から氷河期が始まり、氷河期と間氷期を繰り返した。
- ③ 氷河期に海面が低下し多量に降った雨水で湖の出口は深く浸食され排水が進んだ。

(参考)

- ・2000万年前、日本列島がアジア大陸から分離開始。
- ・300万年前日本列島完成



2-2 古大阪湾(古大阪湖) (130万年前～)

<地質学者の見解>

- ①200万年前頃からの気候変動で古大阪湖の出口に深い谷が形成され、次の間氷期に海水が浸入する事を繰り返して古大阪湾を形成。
- ②130万年前頃、京都盆地や奈良盆地にまで海水が侵入して古京都湾・古奈良湾形成された時期があった。
- ③氷河期に浸食された谷から古大阪湾の水は排水され京都盆地に旧山城湖が誕生。



[3] 旧山城湖(巨椋湖) (130万年前～2万年前) 右図(氷河期)

- ①130万年前奈良盆地が隆起を開始、同時に現京都盆地付近が沈降し始める。
- ②古奈良湖に流れていた古瀬田川が京都盆地へ流れ出す。
- ③その後、(琵琶湖～京都盆地～大阪湾)の淀川水系が誕生。
- ④旧山城3川(桂川、宇治川、木津川)の大量の水で低地の伏見あたりを中心として旧山城湖を形成。
- ⑤その後、旧山城湖の水は山崎と男山の間を破って大阪湾に流出。
- ⑥更に山城盆地が隆起して湖面が徐々に縮小して巨椋湖(池)が誕生。



3-1 巨椋湖(池)(古墳～平安)

- ①古墳時代に入っても山城盆地は広大な湖沼で大湿地帯。
- ②桂川、宇治川、木津川の洪水で周辺部は生活できる場所では無かった。
- ③応神天皇朝に渡来人が高度土木技術で山城盆地を干拓。
- ④奈良朝の頃、漸次干拓が進み盆地中央部で農耕を開始。
- ⑤平城京造営の木材は近江・丹波から船で宇治川・桂川を下り、巨椋池に入り、木津川の泉里(木津)で陸揚げされ大和へ運ばれた。
- ⑥平安時代にも更に干拓が進む。



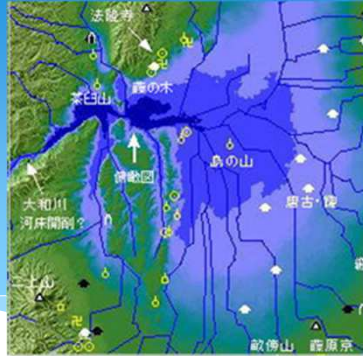
3-2 巨椋池の干拓(平安～秀吉)

- ①平安時代、大和から京都への道は山城中央部の巨椋池が障害となり巨椋池を周回する2ルートがあった。
(東道)大和～泉川(木津川)～宇治橋～岡屋津～瀬川(山科)～大亀谷～平安京
(西道)大和～泉川～男山～山崎橋又は美豆～淀橋～葛野川(桂川)～平安京
- ②大坂からのルートは水路を船で淀までその後、岡屋・宇治へ入った。
- ③秀吉が伏見城築城で宇治川を巨椋池に流さずバイパスして伏見城側に切替えて桂川へ接続した為干拓が一層進んだ。
- ④巨椋池の本格的な干拓は秀吉～江戸～明治まで続き、昭和16年にはほぼ現状まで埋め立て完了。

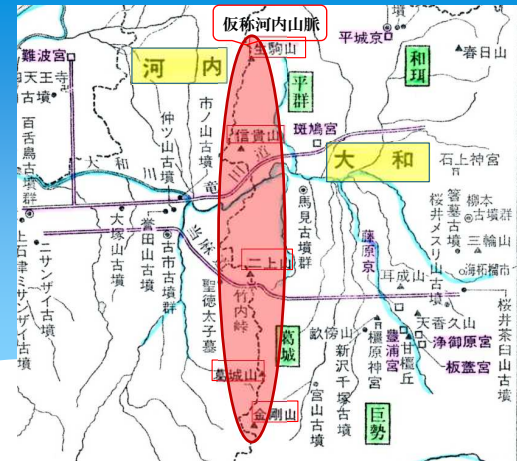


【4】古奈良湖の変遷(200万年前～古墳時代)

- ・太古から古代まで奈良盆地は河内山脈に遮られて巨大な湖だった。
- 【陥没した亀の瀬に大和川誕生】
- ①200万年～300万年前、奈良全体が巨大な湖(古奈良湖)
- ②200万年前頃、二上山の地滑りが原因で亀の瀬辺りが出口として大阪平野に通じる大和川が誕生。
- ③古奈良湖の水は縄文時代、弥生時代と順次減少したが飛鳥時代でも湖や湿地がかなり残っていた。
- ④その後、更に排水が進み、古墳時代になってようやく現在のようになら盆地が陸地化された。
- ⑤山の辺の道は昔の奈良湖の岸に沿った形で形成されたのか。



4の1(仮称・河内山脈)



【5】古代の大阪

1) 河内湖と大和川・淀川

- ・古代において淀川・大和川は河内湖へ
- ・奈良河川は全て大和川へ
- ・大和川は上町台地に遮られて北向きに河内湖へ流入。

2) 堀江の開削(仁徳天皇)

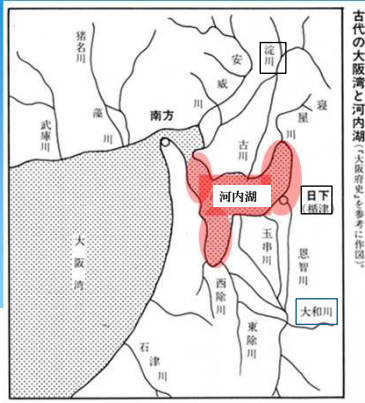
- ・「日本書紀」仁徳紀11年「天皇洪水や高潮を防さぐ為難波宮の北に水路を開削させ、河内平野の水を難波の海へ排水できるようにし、堀江と名付けた。
- ・5世紀頃に洪水・高潮解消、河内平野の開発目的で

5-1 淀川水系誕生(130万年前～現在)

- ①130万年前奈良盆地隆起開始。逆に現京都盆地付近が沈降。
- ②古奈良湖に流れていた古瀬田川が京都盆地へ流れ出す。
- ③その後、現在のようになら盆地(難波湖～淀川～大阪湾)ルートが誕生。
- ④この頃に京都盆地原型が誕生。
- ⑤京都盆地の底は古瀬田川他の影響を受け旧山城湖を形成し、変遷を経て堆積盆地と成る。(堆積地層は大阪層群)



5-2 河内湖と大和川(古墳時代)



古代の大和川と河内湖（大和川史を参考に作成）

5-3 堀江開削(仁徳朝4c末~5c初)



[6] 古代の大和川

- 6-1 奈良の河川と大和川
- 6-2 旧大和川(河内平野)
- 6-3 亀の瀬(大和川難所)
- 6-4 現在の「亀の瀬」
- 6-5 魚梁船(やなぶね)模型

6-1 奈良の河川と大和川



6-2 旧大和川 (河内側)



6-3 亀の瀬(大和川の難所)



6-4 現在の亀の瀬(浅瀬)



6-5 魚梁(やな)船模型

(上流:浅底の魚梁船、下流:剣先船)



「亀の瀬」の上流の運船:

